

長井海洋実習場見学会を行いました

平成 29 年 8 月 21 日（月）に長井海洋実習場にて中学生を対象に見学会を行いました。長井海洋実習場は、本校より南へ約 5 キロ、好漁場かつ古くから海洋生物の研究の場となっている相模湾の側にあります。ここでは、カッター実習や小型実習船「わかしお」での釣り実習、ワカメ養殖などすぐ側に海があるという立地条件を存分に活かした授業・実習が行われています。さらに、施設内の飼育室では、ヒラメ・アワビなどの水産重要種を卵から育成する種苗生産を行っています。今回の見学会では、「岸壁係留中のわかしお」、「種苗生産施設」、「艇庫内舟艇類」、「海洋環境実験室」、「漁具制作実習室」、「屋上」の見学を行いました。



「岸壁係留中のわかしお」

長さ 19m、幅 4.5m、深さ 1.5m、定員 25 名第一種漁船です。

1 学年の時には釣り実習（サバ）を行い、2 学年の選択科目である漁業実習（イナダ・カワハギ・ヤリイカ・カサゴ等）では季節の魚を釣り、実習を行います。見学会では、係留中のわかしおを見学していただきました。



「種苗生産施設」

アワビ・ナマコ・ヒラメ・カサゴ・ウニを育てており、実習を通して研究しています。ウニについては、三浦キャベツの廃棄する部分をエサにして磯焼け問題の解決に取り組んでいます。見学会では、生物の成長の様子を見学していただきました。



「艇庫内舟艇類」

小型舟艇・カッターが収納しており、カッターは1学年の「水産海洋基礎」で長者ヶ崎から城ヶ島あたりまで漕艇していきます。また、小型二級教習用のモーターボートも収納されており、二級小型船舶操縦士の免許を取るために使用されています。



「海洋環境実験室」

生物の解剖や顕微鏡による観察、魚卵を一定温度に保ち孵化させる装置などの実験も行っています。すべての実験室には自然海水を供給する設備が整っており、海洋生物や環境に関わる実験に広く対応することができます。



「漁具製作実習室」

雨天、荒天時に船舶が海に実習に行けないときは、この部屋でロープワーク、編網などの実習を行います。ここからの景色は江ノ島や富士山など天気の良いければ伊豆半島までを眺めることができます。



「屋上」

屋上の水槽では、植物性プランクトンを飼育し、水産生物のエサとして常時利用できるようにしています。また、メガイアワビ、マダカアワビの稚貝の増殖を行っています。